

選挙景氣の

極端な明暗二重奏

選挙民の苦勞に酬ゆる

選良果して?

言論、文書戦に入つた選挙が一時的な波動であるとは云ひ景氣のパロメーターとなる極端な明暗二重奏以前は選挙と云ふと

花柳街は 大繁昌一連

動關係者の出入で華やかな紅裙連の意氣物凄かつたが今回は肅正の取締りが峻厳とあつて三味の音一つしなくなり花柳街は夏枯れに續いてひどいさびれ方お蔭で紅裙連選挙と聞いた丈でゾツとするさうな、反對に好景氣に

本格的警戒

平署巡查を動員

明日前提的の懇談

平署は大体縣議候補者も出揃つたので明日午前十時から候補者及び事務長を招き選挙取締りに關する懇談を

有権者の失格が

既に千名に近い

来る廿五日執行する縣會議

員選挙本郡有権者は既に名

轉手こ舞の印刷屋は

相も變らず注文殺倒で夜に晝に次ぐ推薦状、挨拶状の重積に夜も寝ない程の忙しさ、と斯う並べて來て一番骨の折れるのは郵便配達君で通常より一躍配達數が増いてゐるのにもつて來て一寸でも不注意があれば妨害になるかも知れんと云ふらしい

肅正法に 惱みは大きい、何にしても之れだけ苦勞する選挙民に酬へる選良が當選して欲しいものだ

立會演説

古河炭礦で

各候補者を招き 来る廿一日に

好間村古河炭礦は各有権者に人物本位の候補者を選ばせ選挙肅正の實を挙げやうと来る廿一日午後一時から小館俱樂部に郡内各候補者の立會演説會を催すべく目下交渉を進めて居るが當日は出席候補者に關する参考事項を記載した印刷物を有権者に配布すると

小松氏が

郡南民政から

立候補の届出

石城民政派の郡南候補者は種々の事情で擁立に頗る難色を見せたが一度辞退した勿來町小松章氏が結局出馬の意を固め立候補の手續を

菜種搾油工場が

けふ機械の試運轉

既報石城販賣利用組合が工費七千五百餘圓を投じ四倉驛前に建設を急いで居た菜種搾油工場は福岡縣未續製作所より購入した最新式搾油機二臺の据付工事が完成したので本十四日午後一時から試運轉を行ひ機械の操作成績が良ければ同組合で買込んだ菜種四千五百俵に

ネギの病氣發生

農試分場が消毒法獎勵

最近石城葱として東京仙臺方面へ盛んに移出される神谷飯野平窪各村産の葱は目下收穫期を控へ降雨と氣温低下の爲め黒斑病、露菌病等に罹り褐色に變じ枯死する状態に陥つて居るので各農家では大恐慌を來して居るが神谷農試分場では是が豫防策として四斗式ホルド液の散布方を獎勵して居る

恩賜郷倉

續々落成

飯米不足一掃

玉川村は去月中より同村字岡小名、林城、南富岡の三ヶ所に工費千五百圓で恩賜郷倉を工事中であつたが此程落成し去月上旬より起工された郡下の恩賜郷倉六十四

警女排球

神宮豫選へ

警女排球部は永島部長引卒の許に明十五日午前五時十五分發列車で水戸へ遠征同市四高女と對戦するが更に来る廿二日には福島女子師範校で開催の縣下女子中等學校排球神宮豫選に出場すると一行のメンバーの如し

警務署異動

平稅務署内の今回の仙臺稅務監督局管内大異動に依る

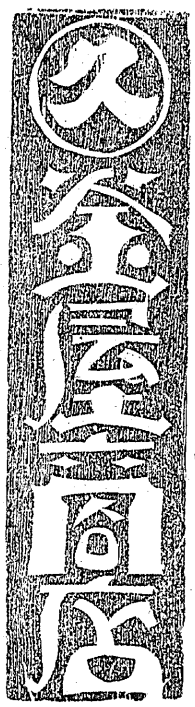
異動は左の通り

(課長級) 寺山盛一 間稅課長は坂下間稅課長に榮轉後任として一關間稅課長菊地胤治氏が着任する(屬) 渡邊三郎 鹿又丞郎 關根好猪の三氏が轉動し後任に齊藤德四郎 伊藤正の二氏が着任する由

夏秋蠶の

掃立豫想

石城郡の夏秋蠶中夏蠶初秋蠶は既に收穫済みであり目下晩秋蠶の飼育中にあるが夏秋蠶掃立豫想量は本月一日現在調査に於て白繭種十五萬五千六百九十五グラムでこの掃立を試みに一グラム當り五百分の收量に換算すれば七萬七千八百四十七貫五百分となる更に一貫當り平均四圓とすれば三十一萬三千九百九十圓に達する巨額で繭價高騰の波に乗る郡下養蠶家は春蠶以來の高値持續にホク／＼ものである



磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は生命なり

喜多流謠曲と仕舞の

稽古を獎勵致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會

平明田町六九 電話一二七番

ドス黒い...

無気味な口を

ハクリ開けた

鹿島村畑地の大龜裂

昨日日本紙報導の鹿島村地内の大地滑りは同村上矢田字郷地内畑に八月末日頃から毎日の如く地滑が起り南北へ約百間、幅三十間位の個所は二尺から三尺餘陥没し無数の龜裂あり殊に甚だしいのは中二町歩は三尺乃至七尺陥没し慘憺たる現状である、同部落農長瀬友好方自宅一棟は龜裂のため十二日夜に至り取壊し、更には同新宅梅津一幸、長瀬留次方もそれで之また取壊はし準備中である尙大雨でもあれば大山崩れは免れ難く十餘戸の部落民は目下生きた心地もない有様で十二日の地滑りの現状は薄黒い地肌が無気味に口を開け凄惨なものである尙部落民はぐづつく天候に今後の異變を怖れて續々避難の準備中である

足無し屍体

豊間沖に漂ふ

去る十一日豊間村鹽屋岬燈臺沖合三哩の地点で高知縣の鯉漁船大隈丸は漂流中の男の溺死體を發見拾ひ上げて十三日宮城縣氣仙沼港に入港直に平署に照會の電報を寄せて來たが溺死體は年齢三十才前後頭にタオルの鉢巻をしてをり人絹のサルマダを付けて居るが死後四五日経過したもの、如く兩足は無くなつて居る

警中軍隊見學 磐城
中學校五年生百九十名は歩

危険に瀕してゐるの

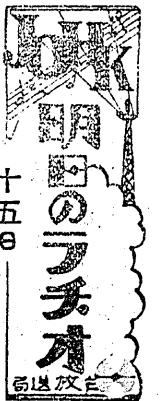
雨さへ無ければ

お祭氣分が氾濫

降らぬ筈の八幡様

飯野八幡神社の年に一度の例祭は今日十四日が宵祭で例年通り沿道に目押しに軒を並べる玩具屋や其の他露天商人の店造りも忙しく夜は近郷近在よりの參詣人でお祭り氣分の氾濫となる筈が俗に「赤井嶽に降つたら八幡様には降らぬ」と傳へられる天候も當てにならず朝の内一寸陽の目を見ただけでたちまち時雨がパラつき商人や參拜人の氣を揉ませてゐるが明日の本祭には御輿渡御をはじめ奉納試合流馬等の催しがあり雨さへ無ければ非常な人出を豫想される尙平町各小學校中等學校では午前中に參拜を了し放課となつた

少年劍士 奉納試合に
明日の飯野八幡神社奉納劍道大會へ平第一小學校より出場の少年劍士は左の八名である
(高等科)大金一男 黒井



明日のラジオ
今晩北東の風驟
雨模様明日日西
の風天氣よし

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「關ヶ原合戦」大垣中
學校長阿部榮之助
後六、二五 講演「學國一
致のラヂオ体操の會」中
山龍次「東北地方のラヂ
オ体操の會」鈴木源二
◎子供と家庭の夕◎

後七、三〇 新日本音楽
新管絃社「しぐれ」二、面
白いニユース 三、獨唱
と合唱「歌のつどひ」秋の
夜「コーラ・ナニハ」
後九、〇〇 時事解説「支
那の經濟問題」高柳松一
郎
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告

明日の部
前九、三〇 神話「護王神
社」
前一〇、〇〇 日曜勤業
前一一、〇〇 講演「事變
前につける滿洲林業の回
顧」後藤收蔵
前一二、〇〇 教育者の體
験談「不良兒童の教育に
就て」大石龍二郎
前一三、五〇 東京大學野
球リーグ「早帝、慶法戦」
神宮球場
後〇、五〇 和洋合奏 浪
花絃樂團
後一、二〇 琵琶「菊の礎」
高田旭邦
後一、五〇 管絃樂「チャ
イコフスキーの夜曲」新
交響樂團
後二、二〇 芝居囃子 杵
屋榮藏社中
後六、〇〇 お話「支倉六
右衛門」關口亮也
後七、三〇 日滿議定書調
印三周年記念日滿交驛放
送(滿洲より)君ケ代と埃
撈「承認三周年記念日に
當りて」張景惠(日本よ
り)滿洲國歌 挨拶 岡田
總理大臣「歌謡曲」東海林
太郎
後八、二〇 落語「居候」林
家正藏
後八、四五 映畫劇「あば
れ行燈」黒川彌太郎他

平職業紹介所報告
回人を求める方
△子守 四十迄 尋卒 月
五—六圓
△店員 十八才 尋卒 月
六—七圓
△外交員 尋卒 委細面談
△柏々 二十六才 月十圓
回職を求むる方
△機械工 三十二才 高卒
△荷上夫 二十七才 尋卒
△職工 十三才 高卒
△牛乳配達 二十二才 高
卒

分團對抗野球

組合せが決定

平町青年團の分團對抗野球戦はいよいよ明日十五日午前八時より平南、平第一、平第三の三球場で舉行されるが昨十三日の主將會議の結果組合せ左の如く決定した

△第一回戦
白 銀——十六區 A
城 山——一丁目 B
△第二回戦
久保町——鍛冶町
胡摩澤——長 橋
才穂小路——廿八區
田 町——三丁目
材木町——二丁目
十七區——研 古
五丁目——Aの勝者
新川町——Rの勝者
法曹對營林 平法曹
團對平營林署の野球試合は

免囚保護

昨日の宣傳

平自警會は昨日十三日の司法保護デーに當り既報の如く吉岡刑務支所長以下武田、門傳、眞木の同會理事村上保健技手、藤内主事、大塚書記、遠藤評議員外三名の刑務所職員が縣社八幡神社參拜の後平町をはじめ七町十二ヶ村にビラを撒布して免囚保護の徹底を期した

見習男女工

右至急募集す

希望者來談あれ
常磐毎日印刷會社
長橋町電話六三〇
市原醫院
平町・田町
電話一四番



明治太平記

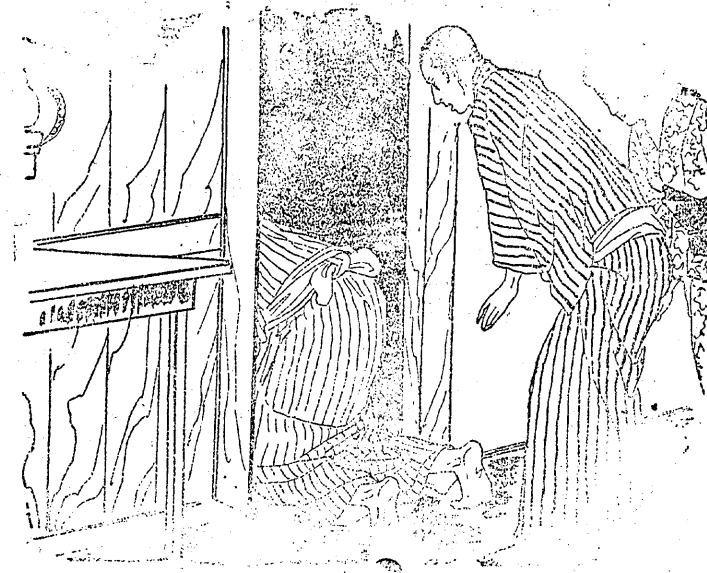
(作) 寺島樫史
(編) 寺島樫史

第二百二十六回 開化の鬼 (三)

あとに残つた三人はお互に顔を見合つて聲を忍んで笑つた。
「正直だな、あの諸生つボは……」
「先づこれで、ウエルズの歸りを待つてゐるとよいのだ。網を張つて引つかしむのを待つてゐるやうなものさね」
井手はそのとき、つと立つていつて押入れの板戸をあけた。紅茶の仕度でもできたらしやうといふほどの氣持で押入れの中を物色した。

ところが板戸をあけた井手は押入れの中に半身を入れたまゝなかに出て來なかつた。
「井手さん、どうしました？」
芳二郎は怪しんで聲をかけた。
「おかしい」
押入れの中で井手は呟いた。そして何やらする／＼引つ張り出して來た。
石油ランプの灯の下にひろげてみるとそれはまさしく貴婦人の洋服だつた。「おや？」

何より驚いたのは今まで無言だつたおとわである。かけよつてその水色絹の婦人中禮服を手に取上げた。
「おとわさんそれに見覚えがあるはずだ」
井手は眼を輝かした。開



んぞまで描つてますわ」「あなたを戀慕するウエルズだこれくらゐのことは……」
井手は、も一度押入れの中に首をつゝ込んで、ゴソ／＼探し廻つて、こんどはエナメル製の靴と鳥羽根のついた婦人帽をもつて來た。それを床のうへに投げ出して
「さア、これで見な捕つたおとわさん、もう一度らしやめんにかへりなさい」「エッ？」
「この婦人服は天の恵みで

化男華やかなりしころのおもひでのにはふ婦人服だ。「これを忘れてどうしませう。……はじめてパークスのところへらしやめんに上るとき着ていつたあのときの洋服ですもの……どうしてウエルズが隠し持つてゐるのでせう？ あら、首飾りからコルセットから花が

平町土橋通り 電話三一三番

原齒科醫院

院長 東島 精一
東島 士原
東島 士原
東島 士原

平町土橋通り 電話三一三番

原齒科醫院

歯科 口腔外科
レントゲン科

平町土橋通り 電話三一三番

原齒科醫院

院長 東島 精一
東島 士原
東島 士原
東島 士原

て戦つてウエルズの身邊に近づき恨みの一刀を彼奴の脇腹にグザと突刺すんですア、はやく、はやく」
しかし、それは井手のべつな計劃からでもあつた。自分もおとわのお供に化けて延遠館に忍びこみ、今夜こそあの憎むべき大久保利通を……
世にもふしぎなことがある。時勢に逆行し、文明開化を呪ひ紅毛人をけだもつと信じてゐる、旗本上りの素浪人大志賀市之丞が、稲荷堀の西郷の邸を訪ね、やがてそこを辭し門外へ出たと

あつた。あの講武所風のサムラヒ姿から、當世失業武士に落ぶれをさ迷ふてつた彼が急にざんばら髪をコスメチックでなでつけ、袴下駄の厚歯太緒のかはりにエナメル靴をはき、肩のこる、のど首のつまる燕尾服を着て、黒帽子をかぶり棒を呑んだやうに固くなつて出て來たところをみるとどうやら時勢に叩頭して六等出仕を志願したのかもしいない

夜間

胃腸病科 専門

花柳病科 性病科 皮膚科

院醫 性胃 村松 (平町南町一〇七番)

株式賣買

會社 三共商事

大町 電話三六〇番

◎最も理想の相互扶助機關◎

□共存共榮自力更生の大策□

中小商工業者の大福音

石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは

十錢の掛金をなす三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します

金僅か十錢の掛金で満額掛戻の時には五分以上の割戻分配を致します

一、融會公共事業及慈善事業への委任
二、懇談會併修養講話會
三、會員の吉凶慶弔
四、法律無料相談
五、診療救恤の補償
六、納税代納事務取扱
七、勤儉蓄積の奨励
八、小資本の融通
九、會員の特典
一〇、會報發行

◎皆さん御利用を願ひます相互扶助機關

石城中小商工互融會
福島縣平町土橋小一番地